

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号
安定した水の供給	運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率	34.3	(%)		(自己保有水源水量/全水源水量)×100	1004
			B102	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額	0.00	(円/m ³)	有効数字2桁表示	水源保全に投資した費用/年間取水量	1005
			B103	地下水率	98.5	(%)		(地下水揚水量 / 年間取水量)×100	4101
			B104	施設利用率	88.2	(%)		(一日平均配水量/施設能力)×100	3019
			B105	最大稼働率	93.2	(%)		(一日最大配水量/施設能力)×100	3020
			B106	負荷率	94.6	(%)		(一日平均配水量/一日最大配水量)×100	3021
			B107	配水管延長密度	18.8	(km/km ²)		配水管延長/現在給水面積	2007
			B108	管路点検率	16.4	(%)		(点検した管路延長 / 管路延長) × 100	5111
			B109	バルブ点検率	1.2	(%)		(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100	新規
			B110	漏水率	4.0	(%)		(年間漏水量 / 年間配水量) × 100	5107
			B111	有効率	96.0	(%)		(年間有効水量 / 年間配水量) × 100	新規
			B112	有収率	93.7	(%)		(年間有収水量/年間配水量)×100	3018
			B113	配水池貯留能力	0.63	(日)		配水池有効容量/一日平均配水量	2004
			B114	給水人口一人当たり配水量	286	(L/日・人)		(一日平均配水量/現在給水人口)×1,000	2002
			B115	給水制限日数	0	(日)		年間給水制限日数	2005
			B116	給水普及率	100.0	(%)		(現在給水人口/給水区域内人口)×100	2006
			B117	設備点検実施率	95.6	(%)		(点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数) × 100	5110
	運営管理	事故災害対策	B201	浄水場事故割合	0.67	(件/10年・箇)		10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数	5101
			B202	事故時断水人口率	60.7	(%)		(事故時断水人口/現在給水人口)×100	2204
			B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	92	(L/人)		(配水池有効容量×1/2 + 緊急貯水槽容量)×1,000/現在給水人口	2001
			B204	管路の事故割合	2.2	(件/100 km)		管路の事故件数 / (管路延長/100)	5103
			B205	基幹管路の事故割合	0.0	(件/100 km)		基幹管路の事故件数/(基幹管路延長/100)	2202
			B206	鉄製管路の事故割合	0.3	(件/100 km)		鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)	5104
			B207	非鉄製管路の事故割合	6.2	(件/100 km)		非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長/100)	5105
			B208	給水管の事故割合	3.1	(件/1,000 件)		給水管の事故件数 / (給水件数 / 1,000)	5106
			B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	0.00	(時間)		Σ(断水・濁水時間 × 断水・濁水区域給水人口) / 現在給水人口	5109
			B210	災害対策訓練実施回数	3	(回/年)		年間の災害対策訓練実施回数	新規
	B211	消火栓設置密度	3.5	(基/km)		消火栓数 / 配水管延長	5114		
	環境対策	B301	配水量1m ³ 当たり電力消費量	0.31	(kWh/m ³)	有効数字2桁表示	電力使用量の合計 / 年間配水量	4001	
		B302	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	2.99	(MJ/m ³)		エネルギー消費量 / 年間配水量	4002	
B303		配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂) 排出量	111	(g・CO ₂ /m ³)		[二酸化炭素 (CO ₂) 排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶	4006		
B304		再生可能エネルギー利用率	0.000	(%)	有効数字2桁表示	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100	4003		
B305		浄水発生土の有効利用率	—	(%)		(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100	4004		
B306		建設副産物のリサイクル率	100.0	(%)		(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100	4005		

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号
施設整備	施設管理		B401	ダクタイトル鑄鉄管・鋼管率	70.0	(%)		$[(ダクタイトル鑄鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] \times 100$	5102
			B402	管路の新設率	0.00	(%)		$(新設管路延長/管路延長) \times 100$	2107
	施設更新		B501	法定耐用年数超過浄水施設率	97.4	(%)		$(法定耐用年数を超過している浄水施設能力/全浄水施設能力) \times 100$	2101
			B502	法定耐用年数超過設備率	29.3	(%)		$(法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数/機械・電気・計装設備などの合計数) \times 100$	2102
			B503	法定耐用年数超過管路率	19.6	(%)		$(法定耐用年数を超過している管路延長/管路延長) \times 100$	2103
			B504	管路の更新率	0.71	(%)		$(更新された管路延長/管路延長) \times 100$	2104
			B505	管路の更生率	0.000	(%)		$(更生された管路延長/管路延長) \times 100$	2105
	事故災害対策		B601	系統間の原水融通率	0.0	(%)		$(原水融通能力/全浄水施設能力) \times 100$	2206
			B602	浄水施設の耐震化率	100.0	(%)		$(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力) \times 100$	2207
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	100.0	(%)		$[(沈殿・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力 + ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力) / 全浄水施設能力] \times 100$	新規
			B603	ポンプ所の耐震化率	91.5	(%)		$(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力) \times 100$	2208
			B604	配水池の耐震化率	99.8	(%)		$(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量) \times 100$	2209
			B605	管路の耐震管率	20.7	(%)		$(耐震管延長/管路延長) \times 100$	2210
			B606	基幹管路の耐震管率	36.6	(%)		$(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長) \times 100$	新規
			B606-2	基幹管路の耐震適合率	55.7	(%)		$(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長) \times 100$	新規
			B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	44.4	(%)		$(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長) \times 100$	新規
			B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率	62.8	(%)		$(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長) \times 100$	新規
			B608	停電時配水量確保率	70.7	(%)		$(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量) \times 100$	2216
			B609	薬品備蓄日数	10.8	(日)		$(平均凝集剤貯蔵量/凝集剤一日平均使用量) \text{又は} (平均塩素剤貯蔵量/塩素剤一日平均使用量) \text{のうち、小さい方の値}$	2211
			B610	燃料備蓄日数	0.2	(日)		$平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量$	2212
	B611	応急給水施設密度	21.5	(箇所/100)		$応急給水施設数/(現在給水面積/100)$	2205		
	B612	給水車保有度	0.003	(台/1,000人)	有効数字2桁表示	$給水車数/(現在給水人口/1,000)$	2213		
	B613	車載用の給水タンク保有度	0.039	(m^3 /1,000人)	有効数字2桁表示	$車載用給水タンクの容量/(給水人口/1,000)$	2215		